

【ワークショップのねらい】

これまでのワークショップを踏まえて策定を進めている「前橋市アーバンデザイン」について具体的にどのような内容でまとめているかを確認してもらい、参加者からの幅広い意見、感想を共有し、成果へ反映させるとともに、今後のまちづくりに主体的に取り組んでもらうための意識醸成をねらいとします。

【ワークショップについて】

これまでのワークショップによる意見を踏まえて策定を進めているアーバンデザインの進捗状況について説明し、参加者から感想や、改善点などの聞き取りを行った。

【ワークショップの開催概要】

日時 令和元年7月30日（火）
15：00～16：30

場所 中央公民館5階501・502学習室
（K' BIX元気21まえばし内）

【ワークショップの参加者】

これまでのワークショップに参加していただいた方をはじめとした対象エリア内の住民や事業者、店舗経営者、商店街の会長や理事、大学教授、大学生、公共交通機関等の方など計24名。

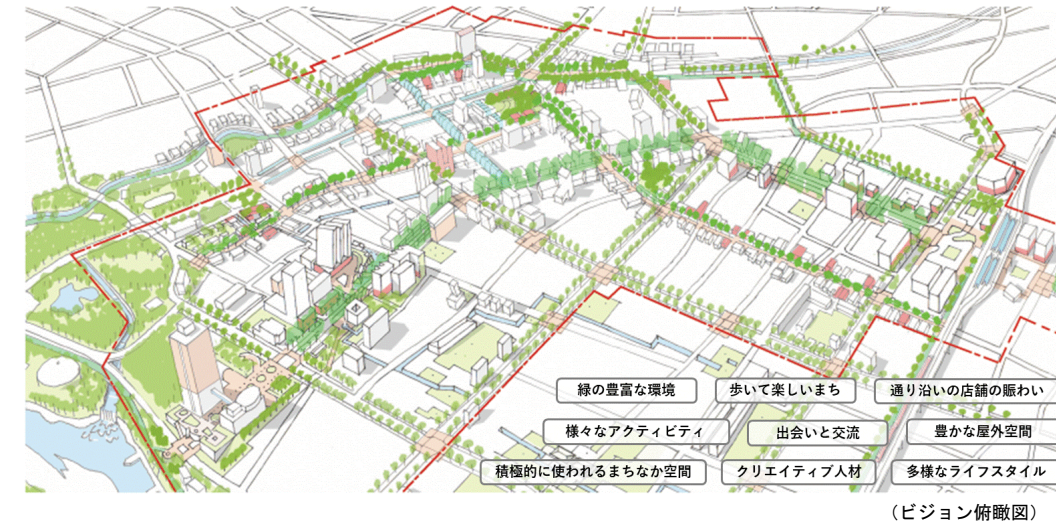
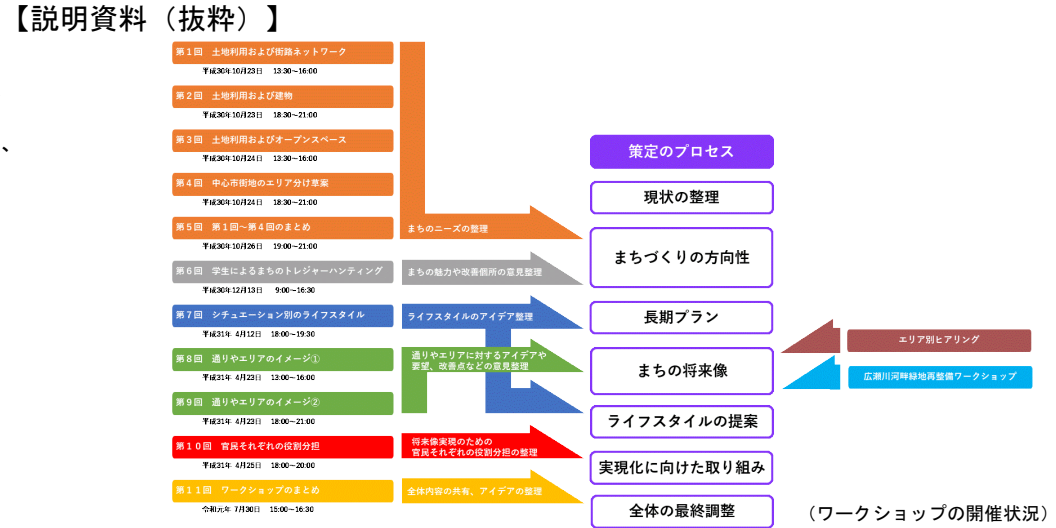
【主な意見】

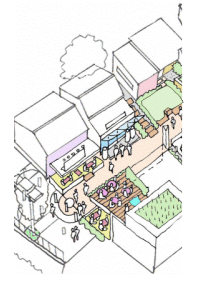
○アーバンデザインの内容について

- ・歴史、文化の部分では、城跡のことだけでなく赤レンガや生糸といった近代の歴史についても組み込めたらいいと思った。
- ・これまでも多くの計画が作られてきたが実現されないものが多くあった。アーバンデザインは話だけでは終わらせないでほしい。
- ・今まで通りだとまくいかなないので、取り組み方を具体的に示す必要があると思う。
- ・民間が投資回収など採算ベースで考えていたものを自分たちが住んでいるまちを良くするためには、自分たちが神経を注ぎ、自分事として考えていかなければならないというような新しいマインドセットみたいなものが必要。
- ・自分が何を具体的にやったら良いかが分からない。それが分かればアーバンデザインを知らない一般の人たちにも良いと思う。
- ・一般の人が関わることが入っているといい。
- ・子育て世代が何をどうすればいいかがぼんやりしている。
- ・このようなまちづくりができれば素敵だと感じた。夢が膨らんだ。
- ・アーバンデザインを市民に広く知ってもらうことが大切だと思う。
- ・前橋は京都に負けぬ観光名所になることはあり得ないので、住んでみたいと思わせるまちづくりを進めていくほうが良いと思う。
- ・人が来てまちにお金を落とす仕組みが必要だと思うので、職住近接が提案されていてよかった。
- ・ランチと夜の営業の店だけではなく、通し営業の店を増やすことで賑わいの創出につながると思う。

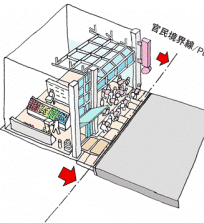
○策定後の取り組みについて

- ・自主的に取り組む意識づくりが大切だと思う。
- ・民間主体のまちづくりを進めるために組織作りが必要となる。
- ・商売をする人材の育成が必要だと思う。和歌山市ではリノベーションスクールを開催し、人材を育成している。前橋においても自分たちが中心となって積極的に育成をしていきたい。
- ・みんなで作ったもので、みんなが語れるようにならないとワークショップに参加した意味がないと感じた。
- ・人材育成という話もあったので、策定に関わった人たちもしっかりと学ぶべきだと思う。そういう機会があったらいいと思う。
- ・ワークショップ参加者以外への周知が必要。
- ・市民全体への周知だとぼやけてしまうのでまずはエリア内の人に伝えるといいと思う。
- ・モデルとなるエリアを決めて早く実現させて可視化することで周りに効果が波及すると思う。
- ・アーバンデザインによって素敵な場所を作り、変化が見えることで、自分もやりたい、お金を出してもいい、力を貸したいという人が出てくると思う。
- ・現状、この計画が最新のものであったとしても、時代の流れでどんどん古くなっていってしまう。そのため、この先何年経っても、ここだけは変わらないうところから始めていべきだと思う。
- ・まちが変わり始めている実感が得られるものをまず初めに取り組んでいくといいと思う。
- ・一番条件の厳しいエリアから取り組むといいと思う。
- ・花を置くなど簡単なことなども書かれているといい。





項目	指針
1. 建築物	A. 屋内外のつながり促進 B. 地上階の賑わいの創出 C. 中心市街地の特長強化
	a. セットフロント b. 開口 c. 配置 d. 夜間や閉店時 e. 用途 b. 出入口 c. 緑化 d. ショーウィンドウ a. ボリューム b. 街角のしつらえ c. リノベーション
	2. 街路やオープンスペース
2. 街路やオープンスペース	A. まちを歩きたくなるような賑わいの演出 B. 自然環境への配慮
	a. アメニティ b. イベント c. 中庭 d. パブリックアート a. 緑化 b. 水 c. 環境配慮



(デザインガイドライン)

